

## 四国中央市第三次ボランティア市民活動推進計画の基本的な考え方

市では、平成 19 年 2 月に第一次ボランティア市民活動推進計画を策定して以来、市民と行政の協働によるまちづくりの実現に向け、市民一人ひとりが積極的にボランティア活動に参加できるような環境整備に取り組んできました。平成 27 年 4 月に策定した第二次四国中央市総合計画においては、より良いまちの実現のために、市民と行政そして企業がそれぞれの力を出し合い、協働していくことが必要であると示されるなど、市民や企業に対するまちづくり活動への参加について大きな期待を寄せています。一方で、第三次ボランティア市民活動推進計画の策定のために実施した市民意識調査と企業意識調査においては、ボランティア活動に対する関心がそれぞれで約 6 割に上るなど、潜在的な活動意識はとても高い状況となっており、行政においては多様なきっかけづくりによる活動への導きが求められています。

こうした中で、市民、企業、行政の協働によるまちづくりを進めるためには、ボランティアコーディネーターを中心とした長期間にわたる継続した取り組みが必要であることなどから、本計画においては、これまでの基本理念等を継承します。その上で、新たな視点として**ボランティア市民活動センターの認知度アップ**やこれまで以上に**企業ボランティアの活性化**に努めるほか、**市民交流棟**を活用した新たな事業を展開したいと考えています。

また、本計画の取り組みの効果が定量的に把握できるように**指標設定**を行い、目指すべき目標の「見える化」を図ります。

### 1. 基本理念

#### 「人と人が支え合う 住みよいまち しこちゅ～」

基本理念については、第二次ボランティア市民活動推進計画で掲げた「人と人が支え合う 住みよいまち しこちゅ～」を引き継ぎます。これからも市民一人ひとりがボランティア活動を通じて支え合いながら、このまちを良くすることを考えて行動することができるように、そしてまた企業が社会貢献活動の一つとしてボランティア活動を行ったり、ボランティア活動を支援したりすることができる仕組みを整備するなど、誰もがこのまちに住んでよかった、また住み続けたいと思えるまちを目指します。

### 2. 基本目標

#### 「目指そう 市民いちボランティア」

第二次ボランティア市民活動推進計画では「目指そう 市民いちボランティア」を基本目標と定め、様々な施策を行ってきました。今後も、市民一人ひとりがボランティアに対する意識を高められるだけでなく、実際に活動を始めやすく続けやすい環境の整備に、より一層取り組んでいく必要があります。そのため、本計画においても第二次ボランティア市民活動推進計画の基本目標である「目指そう 市民いちボランティア」を引き継ぎます。そして、この基本目標を達成するために、第二次ボランティア市民活動推進計画で示されている 4 つの方策の「きっかけづくりをサポート」、「はじめの一步をサポート」、

「楽しくステップアップをサポート」、「元気にパワーアップをサポート」についても継承します。また、今回のアンケート調査においてボランティア市民活動センターの認知度が、市民意識調査では16%、企業意識調査では15%であったことから、ボランティア市民活動センターの更なる認知度アップを図るために、新たな方策として「ボランティア市民活動センターのプロモーション」を加え、本計画では5つの方策に取り組み、それぞれに具体的な実施項目を定めます。

### 3. 指標設定

第二次ボランティア市民活動推進計画では具体的な実施項目の記載はありましたが、その事業の効果等を評価する指標は示されておらず、計画の進捗状況の点検や評価を行うにはわかり難い点がありました。そのため、本計画においては指標を設定し、事業の効果を定量的に把握して、目指すべき目標の「見える化」を図ります。

方 策	【新】 ボランティア市民活動センターのプロモーション
指 標	ボランティア市民活動センターの認知度 25%以上
内 容	第四次ボランティア市民活動計画の策定時に行う市民意識調査及び企業意識調査において、ボランティア市民活動センターを「知っている」との回答を25%以上にします。

方 策	きっかけづくりをサポート
指 標	【新】 ボランティア情報紙を年4回以上発行
内 容	ボランティアを始めるきっかけとなるように、ボランティア情報や活動団体の紹介などを行う情報紙を創刊し、年4回以上の発行を行います。 また、情報紙は公民館やスーパーなどの人目に付きやすい場所に配布するとともに、ホームページに掲載するなど幅広い提供に努めます。

方 策	はじめの一步をサポート
指 標	ボランティア市民活動センターの新規登録者数を5年間で1,000人以上
内 容	四国中央市第二次総合計画においては、ボランティア市民活動センターの登録者数(累計)を平成30年度までに5,300人(5年間で約1,000人増)を目標としており、本計画においても新規登録者数を5年間で1,000人以上とします。 なお、本計画においては、これまで以上に企業ボランティア活性化に取り組むことから、積極的な企業ボランティアの登録に努めます。

方 策	楽しくステップアップをサポート
指 標	<b>【新】</b> 企業と団体等とのマッチング件数（5年間）50件以上
内 容	企業意識調査におけるボランティア団体等に対する企業協力について、不用品や場所の提供、また物品の貸出しなどの回答がありました。こうした協力が可能な企業と協力してほしい団体等とのマッチングを行う仕組みを構築し、5年間で50件以上のマッチングを行います。

方 策	元気にパワーアップをサポート
指 標	<b>【新】</b> 人材育成研修会を年3回以上開催
内 容	市民交流棟等を活用して、団体の運営や活動のレベルアップ、また市民活動のリーダー等を養成するための人材育成研修会を新たに事業化し、年3回以上開催します。